

**令和6年度
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録**

1 日 時	令和6年7月19日（金） 午後2時15分～午後4時30分
2 場 所	教育委員会室
3 議 題	（1）令和6年度における点検・評価の対象及び方法について （2）各施策についての点検・評価
4 資 料	次第、さいたま市教育行政点検評価委員会設置要綱、座席表、出席者名簿、令和6年度点検評価委員会審査日程、令和6年度教育委員会の点検・評価報告書（案）、令和5年度教育行政方針
5 出 席 者	別紙出席者名簿のとおり
6 議 事	＜開 会＞ 14時15分開会 ＜会長の選出＞ 橋本委員より平澤委員を会長へ推薦する声あり、平澤委員が委員長へ選出された。 ＜会議の公開＞ 会議を公開することを決定した。傍聴者希望者はなし。 議題（1）令和6年度における点検・評価の対象及び方法について 事務局から、令和6年度における点検・評価の対象及び方法について説明後、各委員へ意見を求めた。 ※意見なし 事務局の原案のとおり、評価の対象は「令和5年度教育行政方針」に記載された63事業とする。 評価の方法は、「令和6年度教育委員会の点検・評価報告書（案）」における教育委員会の自己点検・評価の記載に沿って各所管課から説明を行い、それに対して委員が意見及び質疑を述べる方式とする。 議題（2）各施策についての点検・評価 令和6年度教育委員会の点検・評価報告書「Ⅲ 点検・評価の結果（令和5年度事業対象）」において、「令和5年度の教育委員の活動状況」及び「1 教育DXによる学びの自律と個別最適化の実現」の9事業（事業名は別紙「令和6年度点検評価委員会審査日程」参照）について所管課より説明を行った後、委員からの意見及び質問を受け付けた。 【主な意見及び質疑】 （1）GIGAスクール構想のネクストステージ「さいたま市スマートスクールプロジェクト」の推進

令和 6 年度
第 1 回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

＜橋本委員＞

エバンジェリストの人数については今までの合計の数値なのか。令和 5 年度に新たに就任した方の数値なのか。また、目標値はあるのか。

＜教育研究所＞

人数は令和 5 年度のものであり、以前から継続した人数も含まれている。また、人数の目標値は定めていない。

＜橋本委員＞

エバンジェリストの教員が授業を引っ張っていると聞いている。引き続き取り組んでいただきたい。

＜平澤委員長＞

エバンジェリストが 0 人の学校はないか。

＜教育研究所＞

0 人の学校はない。

（３）学びの自律化に向けた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの授業改善

＜橋本委員＞

家庭科の授業に参加した感想だが、児童生徒間で話し合う活動がとてもよくできていると感じる。

（４）SDGs の実現を目指した教育の推進

＜平澤委員長＞

SDGs アワードについて今年度も開催予定なのか。

＜教育課程指導課＞

今年度も開催予定である。

＜平澤委員長＞

学びのネットワークへの参加者が約 3,000 人というのはやや少ない印象を受けるがどう考えるか。

＜生涯学習振興課＞

参加者の集計方法が当日シールを配布した人数となっているので、実際の来館者はもう少し多いと考えている。

（５）「さいたま STEAMS 教育」の推進

＜平澤委員長＞

プログラミングツールを配布したと書かれているが既に活用はされているのか。

＜教育課程指導課＞

全ての学校が配ったプログラミングツール又はそれに類するものを使用している。

令和6年度
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

＜平澤委員長＞

大宮北高の生徒が実施する「小学校サイエンス教室」は全員が参加するものなのか。

＜高校教育課＞

フィールドワークを選択して活動した生徒たちで全生徒ではない。

＜平澤委員長＞

フィールドワークを選択した生徒の割合は。

＜高校教育課＞

7／13に実施の夏休み自由研究お助け隊は42人、7／20に実施の水生生物探究教室は、16人、7／24に実施の海洋生物探究教室は、20人と、生徒自らの探究テーマにに応じている。全校生徒が約960人のため、割合としては、数パーセントの生徒になる。

(6) 企業へのビジネス提案を取り入れた探究学習プログラム「さいたまエンジン」の推進

＜橋本委員＞

13社の協力企業について1校が1社に訪問しているのか。

＜教育課程指導課＞

1校に複数の企業が参加している。

(7) 金融経済教育における探究的な学びの充実

＜平澤委員長＞

実践モデル校として研究を推進していると書かれているが、子どもたちが興味を持てたなど変容が生じたものが成果としてあるか。

＜教育課程指導課＞

子どもたちは積極的に取り組んでいたと聞いている。

(8) スポーツを科学する児童生徒の育成

(橋本委員)

動画アプリが広がらなかった原因の分析はどのように考えているか。

＜高校教育課＞

令和5年度はモデル校としての取組のため、今後その成果として動画を作成するなど広めていきたいと考えている。

＜橋本委員＞

高校で実践事例を集めてぜひ中学校へ広げていっていただきたい。

＜平澤委員長＞

動画解析アプリについて、一度使用の方法や活かし方などをプロや専門家に教えてもらってはどうか。また、スポーツに関しては動画解析などだけではなく、力を合わせて取り組む過程への価値付けも重要であるので、その点も含めて取り組んでいただきたい。

令和6年度
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

＜休憩・担当所管入れ替え＞

「5 スクール・コミュニティによる連携・協働の充実」の4事業（事業名は別紙「令和6年度点検評価委員会審査日程」参照）について所管課より説明を行った後、委員からの意見及び質問を受け付けた。

【主な意見及び質疑】

（1）コミュニティ・スクールの推進

＜橋本委員＞

コミュニティ・スクールで学校の運営に関する意見書が17件であった、とあるがどのような内容であったか。

＜生涯学習振興課＞

学校運営に関する意見書としては、施設老朽化などの修繕要望、電子システム導入や警備員配置の要望、教員の働き方改革の推進等の要望があった。

＜橋本委員＞

子どもたちが参加するコミュニティ・スクールについては、実際に発表内容を聞いたが、子どもたちが身近な話題を議論に出していてとてもよかったと思う。

（2）コミュニティ・スクールとスクールサポートネットワークの一体的推進

＜橋本委員＞

教育委員会感謝状の贈呈について制度自体を知らない人が多いと感じている。制度の周知について教職員から積極的に行っていただきたい。

（3）チャレンジスクールを通じた学びの輪・地域の輪づくりの充実

＜橋本委員＞

チャレンジスクールを実施するスタッフの確保が課題だと思っているが、教育実習生に来てもらった方に積極的に声をかけてみるのがいいのではないか。

＜平澤委員長＞

教職インターンシップ制度を活用した大学生ボランティアは何人ぐらいいるのか。

＜生涯学習振興課＞

はっきりとした数は把握していない。

＜平澤委員長＞

大学卒業後のボランティアは続いていく傾向にあるのか。

＜生涯学習振興課＞

データはもってはいないが、大学卒業と同時にやめてしまう方が多い印象である。

（4）学校安全ネットワークの推進

＜橋本委員＞

令和 6 年度
第 1 回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

ながら見守りボランティアとはどのような制度なのか。

＜健康教育課＞

買い物や犬の散歩をしながら、子どもたちの見守りをする、という制度である。

＜平澤委員長＞

ボランティアの確保は、どの事業においても課題だと思うが、ながら見守りボランティアの人数が増加している要因はなにか。

＜健康教育課＞

新入学のタイミングで保護者への周知を図っていることが要因と考えている。

＜平澤委員長＞

登録した人が周囲にわかるようなワッペンなどがあるのか。

＜健康教育課＞

ストラップ付のカードを配っている。

＜平澤委員長＞

見守り実施をしていることがわかるものをつけることで犯罪防止につながるがあるのでよい取組だと思う。

（全体の意見）

＜平澤委員長＞

善意で来てくれるボランティアの方のモチベーションを高めるには、「子どもたちとのつながり」という点が重要だと感じているので、子どもたちとボランティアとの関わりを大事に思ってもらえるような事業を実施していただきたい。また、感謝状の贈呈などの取組も引き続き実施していただきたい。

「6 「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備」の 12 事業（事業名は別紙「令和 6 年度点検評価委員会審査日程」参照）について所管課より説明を行った後、委員からの意見及び質問を受け付けた。

【主な意見及び質疑】

（1）「新たな教師の学びの姿」の具現化

＜平澤委員長＞

教職員の不祥事等についてさいたま市はあまり起きていないと感じているが、「子どもへの性暴力防止に関する研修動画」の視聴者が 286 名となっているが、この数値に関してどう感じているか。

＜教育研究所＞

研修の視聴者 286 人という人数は、忙しい中でも多くの人が視聴してくれたと感じている。

＜平澤委員長＞

全員参加が必須ではない研修は、見てほしいターゲットに見てもらおう工夫をする必要が

令和6年度
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

ある。また、研修を実施したから不祥事を防げるわけではないので、職場の環境をよくするなどの職員に対するケアについてもしっかりと実施していただきたい。

(2) 人づくり、人材確保の推進

<橋本委員>

パイオニア特別選考について対象者に資格や経歴を求めているのか。

<教職員人事課>

選考要綱の中で、受験する教科についての大学や企業、研究機関などで研究、開発、調査などに関する勤務経験が3年以上ある人、受験する教科の分野で高度な専門的知識や経験、技能を有する人が対象であると記載している。

(3) 新しい時代にふさわしい部活動の在り方の推進～部活動の地域移行～

<平澤委員長>

部活動の地域移行について、教育委員会以外の関係局・団体との連携状況は。

<教育課程指導課>

スポーツ文化局やスポーツ協会などとの連携強化に努めているところ。

<平澤委員長>

部活動の地域移行については、まずはやってみなければわからない部分もあると思うので、トライ&エラーで目指す方向に向けて、引き続き尽力していただきたい。

(4) 学校における働き方改革の推進

<橋本委員>

地域として活動する際には、休日に教職員に対応してもらうことが多々あるが、職員の休日の勤務を把握しているか。

<教職員人事課>

勤怠管理システムによる顔認証システムにおいて何時から何時まで勤務しているかを把握している。

<橋本委員>

地域としても休日の先生方の負担を減らせるよう努力していく。

<平澤委員長>

実際に障害のある方はスクール・サポート・スタッフとして雇っているのか。

<教職員人事課>

雇っている。

<平澤委員長>

障害のある方でも、障害特性によってできることは様々あると考えている。障害のある方はこの業務といった業務内容を狭めるような形式での募集ではなく、幅広い内容で募集していただきたい。

令和 6 年度
第 1 回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

(5) 小学校 35 人学級の実現

<橋本委員>

大宮南小でも校庭の一部に仮設校舎が建てられ、運動会の実施などに影響が出ている状態である、ということを理解いただきたい。

(6) 持続可能で質の高い教育環境整備の推進

<橋本委員>

水泳の民間委託についてバスで移動する学校もあるかと思うがその費用も負担しているのか。

<教育政策室>

水泳の民間委託については、徒歩又はバスで 10 分以内のスイミングスクールで実施しており、バスの費用も負担している。

<橋本委員>

学校のプールについては改修をしない方針なのか。

<教育政策室>

新しくプールを作っている学校もあるので必ずしも作らないわけではない。リフレッシュ工事のタイミングでコスト面を比較して必要があればプールの改修となる場合もある。

(8) 実効的で持続的な学校安全体制の充実

<平澤委員長>

ASUKA モデルのクラウドファンディングの目標額はいくらだったのか。

<健康教育課>

500 万である。

(10) 学校体育館への空調機設置の推進

<平澤委員長>

近年の暑さは異常な状態であり、体育館における授業でも体調不良になる子も多いと思う。小学校への空調機の設置についてもぜひ前向きに検討をお願いしたい。

(11) 学校トイレの洋式化等の推進

<橋本委員>

トイレの洋式化率について令和 6 年度の目標値が 1.5 ポイント上昇なのは理由があるか。

<学校施設管理課>

さいたま市の総合振興計画で定められている目標値で設定している。昨年度は、計画より 2 ポイント上回る達成率だったため、令和 6 年度の上昇が少なく見えている。

令和 6 年度
第 1 回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

(12) 公民連携した奨学金制度の拡充

<平澤委員長>

「さいたま市大学等進学「夢」支援」が 6 月より実施していると聞いているが、今現在の目標額の達成状況は。

<学事課>

450 万が目標額であるが、今のところ 68 万 8 千円という状況であり、PR は引き続き実施していく。

<平澤委員長>

クラウドファンディングは寄付をしてくださる方の気持ちに訴えかけることが重要であると考えている。PR については、寄付する方の気持ちに訴えかけるように実施すると効果があるのではないかと思う。

<閉 会> 16 時 30 分閉会

【問合せ先】教育委員会事務局管理部教育政策室 8 2 9 - 1 6 2 6